

議事録

NBRP・コムギ 第5期 第5回 運営委員会

日時：2026年8月26日（水）13：00～15：00

場所：京都大学 農学研究科 農学専攻セミナー室1及びオンライン回線

出席予定者：

（1）運営委員

松岡 由浩（委員長）、江花 薫子、川浦 香奈子、川勝 泰二、川本 祥子、
佐久間 俊、佐藤 豊、辻本 壽、寺内 良平、土佐 幸雄、半田 裕一、
久野 裕、森 直樹

（2）実施者

吉田 健太郎（課題管理者）、那須田 周平、堺 俊之、妹尾 哉汰、
太田 敦士、新田 みゆき

（3）研究協力者

竹中 祥太郎、根本 和洋

（4）その他

文部科学省研究振興局ライフサイエンス課 生命科学研究係 係員 角田薫
LSI事務局 松村主査代理 事務局員1名
NBRP 広報室 室長 高祖 歩美

議長：松岡

書記：新田

議事

報告等：

- (1) 第5期 NBPR・コムギ 組織確認（松岡） 資料1
課題管理者が吉田健太郎（京都大学）となり、前課題管理者の寺内良平（京都大学）が実施者となったことが紹介された。また、妹尾哉汰（京都大学、実施者）と根本和洋（信州大学、研究協力者）の加入が紹介された。
- (2) 第5期 NBPR・コムギ 事業全体報告（吉田） 資料2
NBPR コムギ事業の背景と今後の展望が説明された。
- (3) 2025-2026/2026-2027 年事業計画等の報告
 - ・ 種子リソース増殖（太田、那須田、竹中） 資料 3-1
資料のように報告された。発芽不良がみられた系統への対応について議論された。
 - ・ 種子リソース配布（吉田、新田） 資料 3-2
資料のように報告された。提供数は目標値を上回っているが、利用者数は目標を下回っていることが確認された。利用者数については、学生が利用する系統であっても、指導教員名で配布されているケースが想定され、実際にはもっと多いと考えられるとの指摘があった。
 - ・ 寄託の状況について（吉田、新田） 資料 3-3
資料のように報告された。
 - ・ SMTA による寄託について（吉田） 資料 3-4
資料のように報告された。
 - ・ 学会等での活動（吉田、新田） 資料 3-5
資料のように報告された。
 - ・ 論文発表等の成果について（吉田） 資料 3-6
資料のように報告された。

(4) NBRP 新たな技術開発・情報整備及びゲノム情報等整備プログラムの進捗について

・2026 年度 コムギ NAM 集団のジェノタイピングの整備と形質転換・ゲノム編集技術の汎用性の拡大（那須田、吉田） 資料 4-1
資料のように報告された。

・2023 年度 Langdon ゲノム配列決定（太田、吉田） 資料 4-2
資料のように報告された。

(5) ゲノム解析の現状について（那須田） ~~資料 5~~
六倍体および四倍体コムギの国際コンソーシアムの活動状況が報告された。

(6) 系統収集関連資料のアーカイブ化について
・木原均先生資料（新田、寺内） 資料 6-1
資料のように報告された。

・常脇恒一郎先生資料（吉田） 資料 6-2
資料のように報告された。

(7) 系統採集地の緯度経度情報整備について（太田、吉田） 資料 7
資料のように報告された。

(8) KOMUGI ウェブサイトの更新・利用状況等について（川本） 資料 8
資料のように報告された。

(9) その他

審議：

(1) 2026 年度コムギ小委員会の開催について（吉田）
2026 年度コムギ小委員会を 2027 年 3 月 21 日に開催することが提案され、了承された。

(2) NBRP 第 6 期への申請について（吉田）

NBRP 第 6 期の申請について、栽培植物起原学分野（物集女）に整備される研究施設を中核拠点としてリソースの維持・整備・配布業務を強化し、AI を活用したデータ統合システムの構築を目指す申請を計画していると説明があり、了承された。

(3) その他

その他：

(1) Wheat Initiative、Wheat Congress 等に関する情報共有（辻本、半田、松岡）

日本の研究者が Wheat Initiative など国際的な場に積極的に参加し、プレゼンスを強化することの重要性が議論された。

(2) 栽培植物起原学分野（物集女）施設の改修について（寺内、堺）

栽培植物起原学分野（物集女）の研究施設の改修計画が報告され、2027 年度末までに完成予定であることが説明された。NBRP 事業の実施には支障ない計画であることが説明された。